



くんねっぷ  
HOKKAIDO KUNNEPPU TOWN

# 会 だ よ り 議

162号

プレミアム付商品券の  
発行苦情処理は

一般質問

4

ページ

発行 北海道訓子府町議会  
編集 訓子府町議会広報特別委員会

二〇〇九年（平成二十年）八月一日発行

6月定例会で審議した議案……………2

第2回臨時会で審議した議案……………10

議会の主なうごき／あとがき……………12



訓子府町交通事故死ゼロ1,000日達成しての街頭啓発

平成21年 6月 定例会 6月23日～6月24日まで

# 一般会計3,286万円を補正

## 補正予算

平成21年度各会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

### 一般会計(第1号)

歳入歳出予算に3,286万9千円を追加し、総額を40億856万9千円とした。

#### ■主な歳出内容

- ・町有林立木調査等管理業務 965万3千円を計上
- ・町有林造林業務 52万9千円を減額
- ・保安林造林業務 74万9千円を追加
- ・北訓体育館解体工事補助金 205万6千円を計上
- ・国民健康保険特別会計繰出金 475万3千円を減額
- ・スクラムミックス事業し尿等処理委託料 937万2千円を計上
- ・北見地区スクラムミックスセンター運営負担金 798万3千円を減額
- ・し尿処理施設整備事業負担金 61万3千円を減額
- ・スクラムミックス事業債等償還費負担金 77万6千円を減額
- ・北1条線道路整備工事 1,000万円を計上
- ・東幸町線道路整備工事 750万円を計上
- ・中央公園樹木保全診断業務 25万円を計上
- ・町営住宅維持管理修繕料(3棟12戸屋根塗装) 119万1千円を追加
- ・訓子府小学校樹木保全診断業務 25万円を計上
- ・幼稚園施設管理修繕料(屋根塗装) 131万円を追加
- ・公民館施設用備品(カラオケ用機器) 181万6千円を追加
- ・スポーツセンター修繕料(エントラスホール上部屋根修理) 136万5千円を追加

### 国保会計(第1号)

歳入歳出予算から169万2千円を減額し、総額を9億1,670万8千円とした。

#### ■主な歳出内容

- ・出産育児一時金 36万円を追加
- ・老人保健医療費拠出金 204万8千円を減額

### 老人保健特別会計(第1号)

歳入歳出予算に724万7千円を追加し、総額を1,104万7千円とした。

#### ■歳出内容

- ・医療費交付金等返還金 724万7千円を追加

### 後期高齢者医療特別会計(第1号)

歳入歳出予算に38万4千円を追加し、総額を6,078万4千円とした。

#### ■主な歳出内容

- ・制度周知用消耗品費(パンフレット) 18万4千円を追加

### 介護保険特別会計(第1号)

歳入歳出予算に25万5千円を追加し、総額を4億7,365万5千円とした。

#### ■歳出内容

- ・制度周知用消耗品費(パンフレット) 25万5千円を追加

## 【補正予算関連】

### 【質疑応答】

**Q** 町有林整備事業の委託料、965万3千円の内容は。

**A** 町有林200haの立木調査等管理業務を3年かけて実施するものであり、その業務を新生紀森林組合に委託する。この財源には、道補助金の「ふるさと雇用再生特別対策事業補助金」をあてる。



樹木保全診断調査を実施する中央公園

**Q** 中央公園及び訓子府小学校周辺の樹木に、保全診断が必要として、50万円の補正額が提案されたがどのような内容なのか。

**A** 5月11日の強風により小学校西側の古木が倒れ校舎の屋根等に被害が発生した。平成11年9月の強風でも古い巨木が倒れた際にも、周辺の樹木に一定の処置を行った経過がある。

当地域1haは、北海道が指定する「環境緑地保護地」で、町の名木等もある。

今回、古木等14本を中心に町民の安全の確保と、地域内全体の樹木保全の両面から専門家による診断を行うこととした。

今後、関係する神社や緑地保護鑑査員にも協力をお願いし、適切な処置を行う診断業務費である。

## 【条例の制定等】

◆国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令等の一部改正により、出産一時金の支給額を35万円から39万円に引き上げるため、条例を改正した。

◆町営住宅管理条例の一部改正

町営住宅における暴力団排除と排除に伴う警察との連携を図るため、条例を改正した。

◆特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正

特定公共賃貸住宅における暴力団排除と排除に伴う警察との連携を図るため、条例を改正した。

◆定住促進住宅管理条例の一部改正

原案可決  
定住促進住宅における

る暴力団排除と排除に伴う警察との連携を図るため、条例を改正した。

◆水道事業会計欠損金の処理

原案可決  
平成20年度水道事業会計の決算において、2,652万5,611円を欠損金が生じたため、資本剰余金から繰入し、翌年度繰越欠損金を2,527万431円にすることとした。

◆議員の派遣

承認  
職員派遣について、次の3件を承認した。

○北海道町村議会議員研修会及び行政視察研修（6月30日、7月1日 札幌市・江別市全議員）

○北海道町村議会広報研修会（8月17日・18日 札幌市 議会広報特別委員会正副委員長）

○道内行政視察（8月20日・21日 清水町・下川町 全議員）

◆所管事務調査

原案可決  
総務文教・産業建設の各常任委員会から、所管事務調査について、平成21年度閉会中も継続調査ができるように議長に対し、議決の願いがあり、可決した。

◆採択した請願

◆水田・畑作経営安定対策の見直しを求める請願書

◆議決した意見書

◆原案のとおり可決し政府等関係機関に提出

◆水田・畑作経営安定対策の見直しを求める要望意見書

果、出納事務は適法に行われ、異状ない旨の報告があった。

### 採択した請願

◆水田・畑作経営安定対策の見直しを求める請願書

### 議決した意見書

◆原案のとおり可決し政府等関係機関に提出

◆水田・畑作経営安定対策の見直しを求める要望意見書



第2回定例会

# 一般質問

7名の議員が町長、教育長に一般質問を行いました。

(イラスト・西山 舞)

プレミアム付商品券発行の苦情処理は

町長

内容は商工会役員に伝えた



小林 議員

**小林** 地域活性化を推進する目的で交付されたプレミアム付商品券の発売に際し、町民の人達から町に対して不満の声、苦情が、多数あったと聞くがどのように対応処理をしたのか伺いたい。

**町長** 昨年度、補正予算により実施したプレミアム付商品券の発行については、指摘のとおり、売り切れで購入できなかったなどの不満の電話などが寄せられたところである。

町としては、事業主体である訓子府町商工会に対し、広く多くの方に購入いただけるような配慮をお願いした経過があるが、販売額が1千万と少額であつ

たことなどから、発売開始の午前9時から4時間ほど経過した午後1時半には完売となつており、結果的には1人3万円という購入制限の設定に難があつたのではと感じている。

この事業については消費刺激による地域経済の活性化と、町民の生活支援を目的として国の地域活性化・生活対策臨時交付金の100%補助を受け実施したものであるが、町内

北見バスの譲渡に事前説明はあつたか

町長

関係自治体にも知らされていない

消費には一定の効果があつたものの、生活支援という側面では、十分なものにはなつていないと考えている。

今回、公私にわたり色々な意見をいただいたが、その内容については、訓子府町商工会役員に対し、率直に伝えたとところであり、今後の各種事業を展開していくうえで、十分に生かしてくれるものと考えている。

**小林** つい最近、東京急行電鉄は、子会社・北海道北見バスを企業再生ファンドに譲渡す

ることを発表したと報道されたが、事前に関係自治体に説明か協議があつたのか、今後の

対応を含め伺いたい。

**町長** 株式譲渡については、関係自治体はもちろんであるが、北見バス株式会社も事前には知らされていなかったとのことであり、5月22日、北見バスの佐竹社長が訓子府町を訪問、自社株主の異動について説明があつた。

内容としては、新たな株主と接触しておらず、詳細はわからないが、生活路線等について影響は出てこないとの認識であり、株式譲渡は本年10月1日を予定しているとの説明で

あつた。

町としては、企業の経営方針や以前に傘下となつたバス会社の状況等から影響は少ないと認識しているが、情報収集に努めるなど、今後の状況を注視していく考えである。

北見バスの株主異動に関する問題については、5月22日に開催された北見市、訓子府町置戸町による1市2町首長会議において議題となり、今後、行政として連携して対応することを確認している。



10月1日に株式譲渡が予定される北見バス

## 町民生活の安全安心充実への取り組み

### 町長 住民の生活を支えることを柱とする



上原 議員

**上原** 不況の中で、生活基盤は不安定となり、負担感の増幅や将来への不安が強くなっている。

福祉増進を柱とした行政方針遂行のため、住民の実態把握を行い、施策を打ち出すべきだ。

町長の考えを次の4点について伺いたい。

①町民の家計の実態と充実安定の取り組みとして、所得階層の把握・仕事の確保、更には、年金に係る諸問題への啓蒙・啓発の対応について。

**町長** 住民の生活実態により施策に変化はあるが、全ての町民の把握は、制度上も難しい。65才以上については、適切な資料がある。

職場確保のため、町

内企業に解雇しないよう頼んでいる。

60才以上の土木作業員の仕事減は現実で、臨時交付金等で、わず

かだが対応している。年金に係る説明資料は、理解しづらいが担当の相談や広報の啓蒙・啓蒙活動に努力する。

生活保護受給率は上がっている。実態に応じた個別の対応をしている。

**上原** ②障がいを持つ町民の実態と支援体制の充実。当町では、身体障害者手帳交付が361名、精神障害通院助成受給者51名となっているが、対象者全てを掌握しているのか。

支援法の改定により、旧法で施設支援を受け

ている19名へ影響はないか。

また、町財政難のなか福祉予算確保には賛否両論あるが、組織の連携を図りながら、町民へ理解を求める情報提供も必要ではないか。

**町長** 障害者自立支援法に定める各種給付や本町の障害者地域生活支援事業実施要綱に基づき各種施策を進める。認定者以外の人の対応が課題である。

他人に知られたくないとの考えもある。保健師・民生委員・町内会長・実践会長からの情報が柱となる。

旧法の新法移行での施設からの強制退去はないとの提言もあるが、退去もあり得る。

福祉関係機関が一体

となった、相談・支援体制の整備を行う「地域自立支援協議会」の設置を検討する。

全ての人が地域で活動できるようにしたい。住民の生活を支え切ることが行政の柱と考

え、福祉の後退がないよう努力する。

**上原** ③介護制度改定による影響と対策について。

一次判定方式変更により、全国で54%が介護度が軽くなるというが、訓子府の現状はどうか。

当町の要支援から要介護1の対象は、利用者の38・3%だが保険対象外となりはしないか。

80万円以下の所得者への影響はないのか。

**町長** 本町では、29名が更新申請を行い内6名が経過措置により更新以前の区分に変更している。

利用者への影響が懸念される。経過措置があるため、検証結果を見守りたい。

要支援1から要介護1は、制度対象外となる可能性はある。

町のサービス充実が必要、ボランティアの育成を図る。

**上原** ④子育て環境の充実。

子育ての経済的負担や社会的環境への不安に対する行政への相談

や対応の現状と対策は。

**町長** 各種施策の実施のほか、保健師や民生委員、主任児童委員による新生児訪問を実施し、子育て支援に努めている。

発達支援センター、児童相談所、民生委員・児童委員などの連携のほか、子育て支援センターの設置や子育てボランティアの育成など、支援の充実を図りたい。



地域の福祉を支える地域包括支援センター

## 臨時交付金活用の基本的な考えは

### 町長 創意工夫し有効活用したい



工藤 議員

**工藤** この度の臨時交付金の有効活用で町民生活の更なる安心と励ましに結びつく施策を望むが、交付金活用の基本的な考え方は。

加対策が実施されるが、財政健全化戦略プラン策定時の財政推計にどのような変化をもたらすのか。

**町長** この交付金は、

昨年度の追加対策分（約1億7,400万円）で32本の事業を実施することになり、

地域活性化などの速やか、且つ着実な実施を図ることを目的に、2億443万6千円を限度に交付される見込みとなっているもので、

これらの事業前倒しにより、将来の一般財源負担軽減分として、約6,200万円、基金繰入額負担分で約600万円、合わせて6,800万円程の将来負担の軽減化が図られる。

ことなく、来年度以降も引き続き経済対策や少子高齢化への対応、町民の安全・安心の実現に活用できるように、

創意工夫しながら活用していきたい。

**工藤** 昨年度からの国の第1次、第2次補正

そして今回の補正と追

なから町政を進めて来

ていることを考えると、町民への励ましに結びつく生活支援に力点を置いた活用を考える必要はないか。

もう一つは、少子・高齢化などの課題に向けて次の時代につながる制度化できる施策の実現に向けて活用することも重要と考えるが。

**町長** 補助事業がない、

或いは起債の対象外となっている事業を中心

としながらやらして頂きたい。それによって後年度の財政的な余裕を少しでも計っていき

たい。

### 今後町民の足の確保にどう取り組むのか

#### 町長 早期に実現できるように努める

**工藤** 本町においても

現状をどの様にとらえているのか。

高齢化率が30%を超え、今後安心して住み続けるうえでも足の確保が課題になってくる。

**町長** 各種会合や懇談会などで、町民の皆様から安心して暮らせる



地域活性化・生活対策臨時交付金により、解体される北訓体育館

よう足の確保が必要と多くの声を聞いている。生活交通対策は最重要課題の一つと認識しており、具体化に向けて検討を進めている。

心に利便性、経済性、効率性を基本に、どのような形態にするか、運行方式、民間事業者への影響、実証運行の要否など他の自治体の例も参考にし、町民の皆様

**工藤** どの様に取り組んでいこうとしているのか。

の意見も伺いながら、早期に実現できるように努める。

**町長** 高齢者の方を中

心にも参考にし、町民の皆様

## 保育園統合計画の進捗状況を伺いたい

教育長

来春を目途に統合の検討を進めたい



西山 議員

**西山** 今年の3月で

「ひので保育園」が閉園統合となったが、残る「あさひ保育園」について、保護者から不安の声も聞かれるため、具体的な計画内容を示してほしい。

**教育長** 保育園の運営については、少子化に伴う入園児数の減少から保育サービスの充実

や保育成果を高めるため、町内3ヶ所あった

保育園の統合や通年保育の実施に向けて、検討・見直しを行ってきた。

その結果本年3月に「ひので保育園」を閉園

し、当面は「あさひ保育園」を来春を目途に、「くんねつぷ保育園」と統合する検討を進めて



統合を検討しているあさひ保育園

いる。統合については、施設の定員や入所条件

の制約もあり、定員を拡大し、「保育に欠けない子」も入園できる私的契約制度を取り入れ、常設保育園の増改築などの整備を行い、

町内1ヶ所での保育園運営を目指し保育サービスの充実を努めたい。

**西山** 私的契約とはどんなものか。

**教育長** 常設保育園は「保育に欠ける子」が入園条件だが、「保育に欠けない子」も常設保育園に入園できるように、家庭の状況に応じてランク付けする制度で、入園希望児が定数より超えた場合、その中から退園児が出る可能性があるが、その発生を防ぐためにも、定

数の増員や、保育室の増改築の整備を行っていききたい。

**西山** 保護者への説明や話し合いはどう考えているのか。

**教育長** なるべく早い時点で、説明会など丁寧な対応をしていきたい。

## 安心と信頼の子育て支援事業の方向性は

町長

先進地視察や検討委員会で検討中

**西山** 「子育て支援センター」の進行状況と

本町の重点目標を伺いたい。

**町長** 「子育て支援センター」検討委員会」で

検討を重ね、今年度小清水町や清里町への先進地視察を行ってきた。検討委員会では、「めざす姿」として、5つの機能からなる「子育て支援機能」「子育て相談・情報提供機能」「子育て発達支援機能」「子育て学習機能」「一時預かり機能」を柱として

いる。場所としては、現在の「あさひ保育園」の施設を手直し

し、平成22年度スタートに向けて準備を進めている。

**西山** 「乳児期の紙オムツ用ゴミ袋支給助成」

をする考えはないか。

**町長** ゴミの有料化により経済的な負担もあり、こうした助成は、

子育て支援策の一環として有効であると考えられているが、高齢者の紙オムツ使用者への支援などとの関係もあり、今後の検討課題とする。

**西山議員はこの他に「地域集会所の役割と有効活用について」質問があった。**

## 一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき二問までを掲載し、内容を要約しています。その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。会議録は図書館に備えつけてあります。また、町ホームページにも掲載しております。

## 医療機関への支援と通院者の足の確保は

### 町長 スクールバスなどを目的外使用に検討

**佐藤** スクールバスや  
デイスタービス送迎車を、  
高齢者の通院バスとし  
て利用拡大の考えはな  
いか。

**町長** デイスタービスバ  
スは、現在の運行状況  
では利用は難しいと考  
えているので、今後の  
検討課題としていただ  
きたい。

スクールバスに関し  
ては補助金などに係る  
予算執行の適正化に関  
する法律の適用期限が  
過ぎており、ある程度  
柔軟に目的外使用も可  
能と考える。

高齢者の足の確保は  
大きな課題であり、効  
率的運用方法について、  
担当者と年度内に検討  
に入り、可能であれば、  
22年度内にも実現し  
たいと考えている。

**佐藤** 訓子府クリニッ  
クの送迎車への、経費  
など支援の考えはない  
か。

**町長** 訓子府クリニッ  
クには本町が実施して  
いる各種健診事業など  
に多大な協力をいた  
だいているところす  
が、現在まで実施して  
いる地域医療報償や他  
医療機関とのバランス  
などを考慮すると現状  
での支援増は難しい。  
現時点では、医院の  
努力の範囲でお願い  
したい。

**佐藤** 北見赤十字病院  
問題について、近隣の  
町としてどのように考  
えているのか。

又、今後どのような  
貢献を考えているのか。  
**町長** 北見赤十字病院  
は当地域の重要な総合



佐藤 議員

的な医療機関と考えて  
いる。

昨年3月の内科医師  
の退職による医師不足  
や、病院の建替えなど  
北見赤十字病院を取り  
巻く環境は非常に厳し  
いとも認識している。

オホーツク第三次医  
療圏の地方センター病  
院と位置づけて、本町  
住民にも救急医療をは

## 銀河線跡地の処理は遅くないのか

### 町長 本年10月を目途に測量を始める

**川村** 土地の価格は、  
高くないのか。

市街地に近いただけで  
高く農地に近いだけで  
安いのか。

**町長** 現段階では、30  
%位の値下げになるか  
と考えている部分があ



医療機関への足として  
検討を行なうスクールバス

じめとして重要な役割  
を担っている。

オホーツク圏の地域  
医療確保に関しては、  
行政や医師会など関係  
機関で「オホーツク圏  
広域医療対策協議会」  
や「北見市医療問題協

議会」などで議論され  
ているが、本町も北見  
市、置戸町など近隣市  
町と連携を図りながら、  
北見赤十字病院を中心  
とした医療の確保に向  
けて今後も努力をして  
いく。

り、再度、財産審議委  
員会の意見をいただき  
検討する。

**川村** この土地にある  
樹木の処理は。

**町長** 堆積した枝の撤  
去については、7月に  
対象者へ価格などを説



川村 議員

明し、売却予定地の整  
理などをする。

**川村** 樹木は、公売す  
るのではないのか。

**町長** 説明会の席上  
で、雑木処理を依頼さ  
れ、7月を目途に撤去  
その他を行う。

## 議会を傍聴しましょう

議会中の議場の様子を庁舎1階町民ホールにおいて、  
テレビでも放映しています。

平成21年第3回定例会は9月中旬頃に開催する予定です。  
議会傍聴に関するお問い合わせは、議会事務局 ☎47-2184へ



## 町職員の育成の必要はないか

町長 育成は最も大切なもの

**川村** 町職員育成の取り組みはどうかについてなのか。

**町長** 育成は最も大切なものと考えている。

一朝一夕では、解決出来がたい問題である。職員研修などで、知識・技術の取得に努めている。

しかし、自発的な努力、研鑽、能力開発は必要で研修だけでは、不十分であり、育て合う職場をつくり町民につくしたい。

**川村** 町長は、職員



講師を招いての職員研修

## 消防の通信指令業務一元化について

町長 特に大きな問題はない、出動時間短縮などが図られた

**河端** 「町民の生命と財産を守るため」消防の担う役割は、益々重くなっている。

平成20年2月29日から消防の通信指令業務が一元化となり、「119番通報」が全て、北見消防署につながるようになった。

過日、このシステムになってから初めて訓子府町で火災が発生したが、この火災に際して、出動体制などに課題はなかったか。

**町長** 一元化以降、小規模な林野火災などが発生しており、本部の指令に基づき3回出動している。

**川村議員**はこの他「営農に係る油脂類の取扱について」の質問があった。

出動体制についてはこの時も特に大きな問題はなかった。逆に出動準備から現場到着などの時間短縮

及び相互応援の連携は今まで以上にスムーズになされ、現場に合わせた消火活動も支障なく行われたと考えている。

**河端** 火災の一報から消防車の現場到着まで走行ルートなどに問題はなかったのか。

先発した2台の消防車は南12線を穂波方向に走り西21号線を北上した。後発の2台は相内線をまっすぐ北上して先に現場に着いた。

どうしてこのような事になったのか。

**町長** 通信一元化の良い点としてサイレンと出動がほぼ同時になる。団員の召集も早かったことから先発隊は、北見指令のGPSで車載

の地図を確認しながら走行した。結果として、先発隊後発隊が逆になったが、今回の火災の消火にあたっては大きな支障はなかったと考えている。



河端 議員

っているが、例えば「福野方面で住宅火災」などの知らせ方もあるかと思うが、訓子府独自の考え方はできないか。

**町長** サイレンは一元化する時に変わった。今後も住民に広報などで周知していきたい。

場所を知らせなくなたのは、一元化する時に北見・置戸・本町で情報管理マニュアルを作っており、北見地区消防組合として個人情報保護のため詳しい情報は流さないことを取り決めてしている。



火災予防、救急業務をする訓子府支署

# 平成21年 第2回臨時会 4月18日



## 条例の制定等

◆職員給与に関する  
条例の一部改正

原案可決

人事院勧告に基づき  
国に準じた給与改定を  
するため、平成21年6  
月支給の期末手当を  
「100の140」か  
ら「100の125」  
へ勤勉手当を「100  
の75」から「100の  
70」へ改定することか  
ら、条例を改正した。  
(期末手当、勤勉手当  
の合計で0・2カ月を  
凍結)

◆町長、副町長及び教  
育委員会の教育長の給  
与等に関する条例の一  
部改正

原案可決

平成21年6月支給の  
期末手当を「100の  
215」から「100  
の195」へ改定する  
ことから、条例を改正

した。  
(期末手当の0・2カ  
月を凍結)

◆議会の議員の議員報  
酬及び費用弁償等に関  
する条例の一部改正

原案可決

人事院勧告に基づき、  
議員の期末手当につい  
て、全議員で協議した  
結果、平成21年6月支  
給の期末手当を「100  
の215」から「100  
の195」へ改定  
することを「議員提案」  
により条例を改正した。  
(期末手当の0・2カ  
月を凍結)

◆専決処分の承認

承認

税制改正により租税  
特別措置法、地方税法  
等の一部改正に伴い、  
町税条例の改正に、急  
施を必要としたため、  
専決処分を承認した。

◆訓子府小学校校舎耐

震補強工事第1工区請  
負契約の締結

原案可決

訓子府小学校校舎耐  
震補強工事を久島工業  
㈱と請負契約すること  
に同意した。

◇契約金額

6,625万5千円

◇工期

平成21年6月4日～  
平成21年10月30日

◆訓子府小学校校舎耐

震補強工事第2工区請  
負契約の締結

原案可決

訓子府小学校校舎耐  
震補強工事を丸建工業  
㈱と請負契約すること  
に同意した。

◇契約金額

6,195万円

◇工期

平成21年6月3日～  
平成21年10月30日

◆地上デジタル放送テ

レビ中継局整備工事請  
負契約の締結

原案可決

地上デジタル放送テ  
レビ中継局整備工事を  
㈱三新と請負契約する  
ことに同意した。

◇契約金額

4,935万円

◇工期

平成21年6月2日～  
平成21年12月25日

## 報 告

◆専決処分の報告

報告了承

公用車事故による損  
害賠償の額を、次のと  
おり決定し和解した。  
◇損害賠償額  
429,737円

◇事故の概要

平成21年2月20日  
きたみらい農協駐車  
場から後進した際、停  
車中の車両に衝突し、  
車両に破損と運転手に  
怪我をさせる被害を与  
えた。

「議会だより」についてご意見をお寄せください。

議会に対するご意見や、議会だよりを見て感じたことなど  
どんなことでも結構です。

どうぞ議会事務局までご意見をお寄せください。

☎0157-47-2184へ FAX0157-47-2600へ



## 北海道町村議会議長会主催 北海道町村議会“議員研修会”に出席

—札幌コンベンションセンターで開催—



北海道町村議会議員研修

北海道町村議会議員研修会が、6月30日、札幌コンベンションセンターで行われ、本町からも全議員が出席した。

研修内容は、山梨学院大学教授江藤俊昭氏が「住民自治時代の議会の役割と課題」、読売新聞特別編集委員橋本五郎氏が「どうなる日本の政治と経済」と題しての講演であった。江藤氏は、地方自治、住民自治についての著

書も多く、議会や議員のあり方について厳しい提言をされていた。

橋本氏は、長年新聞記者として見て来た政財界の裏話などを、ユーモアをまじえながら話された。

政治は、「国民の幸せ」のためにあるべきなのに、人の痛みに鈍感になっている。

日本の足元が崩れて、地方が衰退している現状を再認識させられた。

(河端)

## 北海道立食品加工研究センターへ 道内行政視察研修

—昨年度と同様に北海道町村議会議員研修会に合わせて実施—



道内行政視察

7月1日(水)江別市にある道立食品加工研究センターを全議員で視察研修に行った。

このセンターは、北海道食品工業のさらなる飛躍を目指して平成4年2月に開設された。職員39名の内29名が研究員として配置され、研究開発・企業技術支援に対応している。

センターのビジョンは、「安全安心で美味

しく付加価値の高い食品づくり」で、研究開発・技術支援で実用化した商品の生産額は、平成19年度で50社72品目、73億7千万円の成果を上げている。

施設内や各種機器を見学し、その種類の多さに圧倒され、今後の地域おこしに繋がる食品開発に、大きな期待と役割の重さを感じた。

(西山)

